

| 科目名 | | 国語Ⅱ(現代文・古文) (Japanese Ⅱ) | | | | | | | |
|--|---|--------------------------|------|-------|------|-------------|---------|-----|-----|
| 学年 | 学科(コース) | 単位数 | | 必修/選択 | 授業形態 | 開講時期 | 総時間数 | | |
| 第2学年 | 機械工学科 電気工学科 制御情報工学科 物質工学科 経営情報学科 | 履修 | 2単位 | — | 講義 | 通年 90分/週 | 60時間 | | |
| 担当教員 | | 【常勤】 赤迫照子 | | | | | | | |
| 学習到達目標 | | | | | | | | | |
| 科目の到達目標レベル | (1)読む力: 文法事項を理解し、作品を読解できる。常用漢字が読める。様々な視点から古典文学に親しむことができる。文学史の基礎知識を習得することができる。読書を楽しむことができる。 (2)書く力: 授業の内容をノートにまとめることができる。論理的な文章が書ける。常用漢字の書き取りができる。読書感想文が書ける。 (3)話す力: 適切に音読できる。根拠を明示しながら自分の意見を述べるができる。 (4)聞く力: 授業のポイントを的確に聞き取り、情報を整理できる。 | | | | | | | | |
| 学習・教育目標 | (G)① | JABEE基準1(2) | | | | | | | |
| 関連科目, 教科書および補助教材 | | | | | | | | | |
| 関連科目 | 国語Ⅰ | | | | | | | | |
| 教科書 | 「精選現代文」「精選古典」(大修館書店) | | | | | | | | |
| 補助教材等 | 「ステップアップ高校漢字問題集」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)、国語辞書 | | | | | | | | |
| 達成度評価(%) | | | | | | | | | |
| 評価方法 指標と評価割合 | 中間試験 | 期末・学年末試験 | 小テスト | レポート | 口頭発表 | 成果品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 |
| 総合評価割合 | 35 | 35 | 10 | 20 | | | | | 100 |
| 知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】 | ○ | ○ | ○ | ○ | | | | | |
| 思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】 | ○ | ○ | | ○ | | | | | |
| 汎用的技能 【コミュニケーションスキル、論理的思考力】 | ○ | ○ | | | | | | | |
| 態度・志向性(人間力) 【 】 | | | | | | | | | |
| 総合的な学習経験と創造的思考力 【 】 | | | | | | | | | |
| 学習上の留意点および学習上の助言 | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 漢字テストは「小テスト」の一つとして評価する。 読書一行感想カードと読書感想文は「レポート」として評価する。 提出物については、厳しく対応する。締切を厳守すること。 古文の授業では、図書館にある教科図書を活用する。各自で閲覧し、学習しておくこと。 授業中、プリントを配付する。ファイルを準備し、整理しておくこと。 | | | | | | | | | |

| 授業の明細 | | | |
|-------|----------------------|---|--|
| 回 | 授業内容 | 到達目標 | 自学自習の内容 (予習・復習) |
| 1 | ガイダンス | ・シラバスを読み、授業の概要、学習到達目標、成績評価方法等を理解する。 | 予習と復習:シラバスを熟読する。 |
| 2 | 評論(一)山田昌弘「家族化するペット」 | ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・段落同士の関係に注意しながら、論理の展開や要旨を的確にとらえることができる。 ・抽象的な事象について、具体例を補いながら読解することができる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。 | 予習:ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。 復習:学習プリントに取り組む。 |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | 説話「大江山いくのの道」(『十訓抄』) | ・説話文学の基礎知識を習得する。 ・取り上げた場面を読解し、味わうことができる。 ・基礎的な古文文法や古語が理解できる。 | 予習:教科書本文を読んでおく。 復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。 |
| 6 | | | |
| 7 | 『和泉式部日記』 | ・『和泉式部日記』の基礎知識を習得する。 ・取り上げた場面を読解し、味わうことができる。 ・基礎的な古文文法や古語を理解できる。 | 予習:教科書本文を読んでおく。 復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。 |
| 8 | | | |
| 9 | 中間試験 | | |
| 10 | 試験返却・解答解説 | ・解説を聞いて間違った箇所を訂正する。 ・何をどのように間違えたのかを振り返った上で、正答を理解する。 | |
| 11 | 評論(二)① 山極寿一「分かち合う社会」 | ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・段落同士の関係に注意しながら、論理の展開や要旨を的確にとらえることができる。 ・抽象的な事象について、具体例を補いながら読解することができる。 ・筆者のものの見方や考え方が理解できる。 | 予習:ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。 復習:学習プリントに取り組む。 |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | 「行く河の流れ」(『方丈記』) | ・『方丈記』の基礎知識を習得する。 ・読解し、無常観について考えることができる。 ・基礎的な古文文法や古語が理解できる。 | 予習:教科書本文を読んでおく。 復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。 |
| | 期末試験 | | |
| 15 | 試験返却・解答解説 まとめ | ・解説を聞いて間違った箇所を訂正する。 ・何をどのように間違えたのかを振り返った上で、正答を理解する。 ・前期の学習事項のまとめを行う。 | |

| 授 業 の 明 細 | | | |
|--------------------|----------------------------------|--|--|
| 回 | 授業内容 | 到達目標 | 自学自習の内容 (予習・復習) |
| 16 | 小説 中島敦『山月記』 | <ul style="list-style-type: none"> ・場面の展開を理解し、作品の構成を把握している。 ・登場人物の心情を把握し、描写を味わうことができる。 ・表現上の工夫をとらえることができる。 ・小説を自分なりに鑑賞することができる。 | 予習:ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。 復習:学習プリントに取り組む。 |
| 17 | | | |
| 18 | | | |
| 19 | 近・現代の文学史 | <ul style="list-style-type: none"> ・近現代の主要な文学作品の概要と文学史の流れを理解することができる。 | 予習と復習:学習プリントのチェック事項を理解する。 |
| 20 | 和歌 | <ul style="list-style-type: none"> ・和歌の基礎知識を習得する。 ・『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』の和歌を読み、鑑賞できる。 ・基礎的な古文文法や古語ga理解できる。 | 予習:教科書本文を読んでおく。 復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。 |
| 21 | | | |
| 22 | 『枕草子』 | <ul style="list-style-type: none"> ・『枕草子』の基礎知識を習得する。 ・取り上げた章段を読解し、味わうことができる。 ・基礎的な古文文法や古語を理解できる。 | 予習:教科書本文を読んでおく。 復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。 |
| 23 | | | |
| 24 | 中 間 試 験 | | |
| 25 | 試験返却・解答解説 | <ul style="list-style-type: none"> ・解説を聞いて間違った箇所を訂正する。 ・何をどのように間違えたのかを振り返った上で、正答を理解する。 | |
| 26 | 評論(二)② 村上陽一郎「科学の現在を問う」 | <ul style="list-style-type: none"> ・接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 ・段落同士の関係に注意しながら、論理の展開や要旨を的確にとらえることができる。 ・抽象的な事象について、具体例を補いながら読解することができる。 ・筆者のもの見方や考え方が理解できる。 | 予習:ことばの意味調べをしておく。漢字学習をする。 復習:学習プリントに取り組む。 |
| 27 | | | |
| 28 | 『源氏物語』 | <ul style="list-style-type: none"> ・『源氏物語』の基礎知識を習得する。 ・取り上げた場面を読解し、味わうことができる。 ・基礎的な古文文法や古語が理解できる。 | 予習:教科書本文を読んでおく。 復習:学習プリントを読み直し、理解しておく。 |
| 29 | | | |
| | 期 末 試 験 | | |
| 30 | 試験返却・解答解説 まとめ 授業改善アンケートの実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・解説を聞いて間違った箇所を訂正する。 ・何をどのように間違えたのかを振り返った上で、正答を理解する。 ・後期および一年間のまとめができる。 | |
| 総 授 業 時 間 数 | | | 60 時間 |

| 科目名 | | 国語Ⅱ(漢文)(JapaneseⅡ) | | | | | | | |
|--|---|--------------------|------|-------|------|-------------|---------|-----|-----|
| 学年 | 学科(コース) | 単位数 | | 必修/選択 | 授業形態 | 開講時期 | 総時間数 | | |
| 第2学年 | 機械工学科 電気工学科 制御情報工学科 物質工学科 経営情報学科 | 履修 | 1単位 | — | 講義 | 前期 90分/週 | 30時間 | | |
| 担当教員 | | 【常勤】畑村 学 | | | | | | | |
| 学習到達目標 | | | | | | | | | |
| 科目の到達目標レベル | (1)漢文の基本的な文法が理解できる。 (2)習得した漢語を、現代日本語の表現として応用できる。 (3)作品を読解・分析することで、漢文作品を鑑賞できる力が身に付く。 (3)漢文のテキストを用いながら、「話す」「聴く」「図解」等のコミュニケーションスキルを習得し、それらを活かして効果的なプレゼンテーションができる。 | | | | | | | | |
| 学習・教育目標 | (G)① | JABEE基準1(2) | | — | | | | | |
| 関連科目、教科書および補助教材 | | | | | | | | | |
| 関連科目 | 国語Ⅰ | | | | | | | | |
| 教科書 | 「精選 古典」(大修館) | | | | | | | | |
| 補助教材等 | 「新版初訂カラー版新国語便覧」(第一学習社) | | | | | | | | |
| 達成度評価(%) | | | | | | | | | |
| 評価方法 指標と評価割合 | 中間試験 | 期末・学年末試験 | 小テスト | レポート | 口頭発表 | 成果品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 |
| | 30 | 30 | | 30 | 10 | | | | 100 |
| 知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】 | ◎ | ◎ | | ○ | ○ | | | | |
| 思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】 | ○ | ○ | | ○ | ○ | | | | |
| 汎用的技能 【コミュニケーションスキル・論理的思考力】 | | | | | ○ | | | | |
| 態度・志向性(人間力) 【 】 | | | | | | | | | |
| 総合的な学習経験と創造的思考力 【 】 | | | | | | | | | |
| 学習上の留意点および学習上の助言 | | | | | | | | | |
| <p>○漢文には、中国の古い文章であり、漢字が並んだ意味のよく分からないものというイメージがある。しかし、漢文は、日本の文化や思想、日本人の精神を形成するのに重要な役割を果たしており、そのことを前提として授業を行う。</p> <p>○1年で学習した漢文訓読の基礎を復習し、2年の教科書に掲載されている少し難易度の高くなった漢文を読む。</p> <p>○漢文の読解を中心とした学習を行いながら、漢文をテキストにしてコミュニケーションスキルを磨く授業も行う。</p> <p>○具体的には、今後さまざまな場面で必要となる図解資料の作成の方法や、プレゼンテーションスキルである。</p> <p>○授業では、毎時間プリントを配布する。そのため、プリントを整理するファイルを準備しておくこと。</p> | | | | | | | | | |

| 授業の明細 | | | |
|--------|--------------------------------|--|--|
| 回 | 授業内容 | 到達目標 | 自学自習の内容 (予習・復習) |
| 1 | ガイダンス | ○シラバスを用い、授業の概要、学習到達目標、成績評価方法等を理解する。 ○授業の方法、配付資料の整理の仕方を理解する。 | シラバスを確認する。 配布資料を確認する。 |
| 2 | 漢文の読解と図解① | ○漢文訓読の方法に従って、漢詩や漢文を訓読できる。 ○教科書掲載の漢詩・漢文を読解し、鑑賞できる。 ○取り上げた作品や作者に関する文学史的な事項について理解できる。 ○内容を理解するとともに、現代の我々の問題として捉えることができる。 ○基本的な図解資料を作成することができる。 ○図解の技法を用いて漢詩や漢文を要約し、習得した図解の技法で身の回りの様々な事象を図解できる。 ○授業では、以下の漢詩・漢文を扱う予定である。 ①故事成語：知音、塞翁馬等 ②史伝：史記ほか ③漢詩：唐詩、日本漢詩 ④散文：桃花源記、補蛇者説 | ○予習 ・次回授業で扱う漢詩・漢文を読んでおく。 ・書き下し文を自分でノート等を書いておく。 ○復習 ・書き下し文、口語訳を確認する。 ・授業内容に関連したレポート課題に取り組む。 ・メ切に間に合うように必ず提出する。 ・返却された自分のレポートや、優れたレポートのコピーを見ることで、次のレポートの制作に活かす。 |
| 3 | 漢文の読解と図解② | | |
| 4 | 漢文の読解と図解③ | | |
| 5 | 漢文の読解と図解④ | | |
| 6 | 漢文の読解と図解⑤ | | |
| 7 | 漢文の読解と図解⑥ | | |
| 8 | 漢文の読解と図解⑦ | | |
| 9 | 中間試験 | | |
| 10 | 答案返却・解説 漢文とプレゼンテーション① | ○教科書掲載の漢詩・漢文を読解し、鑑賞できる。 ○取り上げた作品や作者に関する文学史的な事項について理解できる。 ○内容を理解するとともに、現代の我々の問題として捉えることができる。 ○授業では、以下の漢文を扱う予定である。 ①孔子と門人達たち：論語 ②人の性：孟子 ③政治のあり方：論語、孟子 ④その他の思想家の文章 ○授業の後半では、プレゼンテーションを行う。 ○そのために、漢文を自分で調べ、調べたことを図解資料にまとめることができるようになる。 ○図解資料を利用した、効果的なプレゼンテーションを行うことができるようになる。 | ○予習 ・次回授業で扱う漢詩・漢文を読んでおく。 ・書き下し文を自分でノート等を書いておく。 ○復習 ・書き下し文、口語訳を確認する。 ・授業内容に関連したレポート課題に取り組む。 ・メ切に間に合うように必ず提出する。 ・返却された自分のレポートや、優れたレポートのコピーを見ることで、次のレポートの制作に活かす。 |
| 11 | 漢文とプレゼンテーション② | | |
| 12 | 漢文とプレゼンテーション③ | | |
| 13 | 漢文とプレゼンテーション④ | | |
| 14 | 漢文とプレゼンテーション⑤ | | |
| | 前期末試験 | | |
| 15 | 答案返却・解説 まとめ 授業改善アンケートの実施 | 試験解説により、訓読漢文の理解を深める。 漢文のまとめをする。 | |
| 総授業時間数 | | | 30 時間 |